

2027年3月期 第1四半期
1Q FY2026

決算概要



2026年8月7日
日揮ホールディングス株式会社

本資料の複製・転載・改変・再配布を禁止します。

執行役員IRユニット部長の田口です。
2027年3月期第1四半期の決算概要のご説明をいたします。

目次

- 2027年3月期 第1四半期 実績
- 2027年3月期 予想
- 参考資料



最初に2027年3月期第1四半期の実績、次に2027年3月期の通期業績予想についてご説明いたします。

2027年3月期 第1四半期 実績



Enhancing planetary health

最初に2027年3月期第1四半期の実績です。

ハイライト

- ◆ モザンビーク向け洋上LNGプラント建設プロジェクトを受注
- ◆ 国内外プロジェクトの着実な遂行に加え円安影響により利益は上振れ
- ◆ 機能材製造事業は販売・材料調達両面で順調

中東情勢

- ◆ 関係者の安全を最優先にサウジアラビア、イラク、UAEにおいて複数のプロジェクトを遂行中
- ◆ 最新の状況により各プロジェクトの予算を見直し

ハイライトです。

総合エンジニアリング事業では、これまで先行役務を実施してきた、モザンビーク向け洋上LNGプラント建設プロジェクトの契約締結が行われ、第1四半期から大型の受注を計上することができました。

業績面では、国内外プロジェクトの着実な遂行に加え円安影響により利益が上振れました。

機能材製造事業では中東情勢影響を心配していましたが順調な立ち上がりとなっています。

中東情勢に関しては、関係者の安全を最優先にサウジアラビア、イラク、UAEで複数のプロジェクトを遂行しています。

前期末の決算では、今年前半にプロジェクト遂行に支障がなくなる想定で対応予算を見積り反映しました。プロジェクト毎に進捗段階や周辺環境などにより状況は異なっていますが、いずれも完成に向けて工事や作業を進めており、いまの状況が当面継続することを前提として、今回予算を見直ししています。結果として、連結全体では第1四半期実績は上振れ、通期予想に対しては計画線上での推移となっています。

連結損益計算書

【億円】

	1Q FY2025	1Q FY2026	前年同期比	FY2026 業績予想	進捗率
売上高	1,898	1,592	△ 305	6,700	24%
売上総利益	154	203	+49	730	28%
利益率	8.1%	12.8%	+4.7pt	10.9%	
営業利益	78	123	+44	400	31%
経常利益	92	213	+121	460	46%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	56	116	+60	460	25%
1株当たり 四半期純利益	23.17円	48.03円			

連結損益計算書です。

売上高は前年同期比305億円減収の1,592億円

売上総利益は49億円増益の203億円

利益率は12.8%でした。

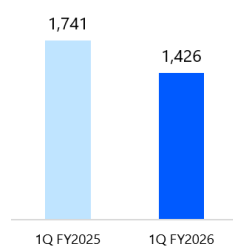
営業利益は44億円増益の123億円

経常利益は為替差益などもあり121億円増益の213億円

親会社株主に帰属する四半期純利益は60億円増益の116億円でした。

セグメント情報：総合エンジニアリング事業（1）

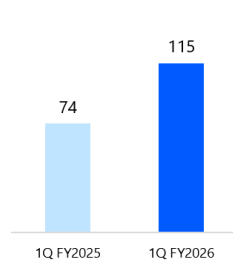
売上高



通期予想	6,060
進捗率	24%

- ◆複数の海外大型案件が前年度に完工または終盤を迎えたことにより減収

セグメント利益



通期予想	414
進捗率	28%

- ◆円安影響等により増益
- ◆中東情勢影響は、各プロジェクトの最新状況で予算を見直し

総合エンジニアリング事業の状況です。

前期までに大型の海外プロジェクトが複数完工したことや工事最終盤となったことで売上高は前年同期比減収の1,426億円でした。

通期予想に対する進捗は順調です。

セグメント利益は、前年同期比増益となり115億円でした。

増益要因としては、まず為替の影響があります。昨年の第1四半期は円高が進みましたが、今期は反対に円安方向でした。

苦戦中のプロジェクトで完工に向けた遂行体制強化を行っている一方で、複数のプロジェクトにおいて順調なプロジェクト遂行によりリスクを適切にコントロールしたことで採算が改善するものがあり、通期予想に対しても若干上振れとなりました。

セグメント情報：総合エンジニアリング事業（2）

受注高			受注残高		
	【億円】			【億円】	
	1Q FY2025	1Q FY2026		2026年3月末	2026年6月末
国内	294	255	国内	1,453	1,411
海外	179	889	海外	10,102	10,001
合計	474	1,145	合計	11,555	11,412

主要 受注案件	国内	海外
	・ 製油所改修	・ FLNG（モザンビーク）

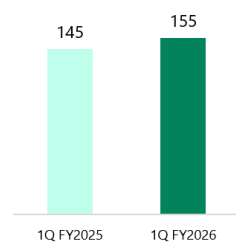
受注残高 主要案件	1,000億円以上	300億円以上
	・ 大型EGR/CCUS陸上設備（インドネシア） ・ 大型低炭素LNGプラント（UAE） ・ 原油・ガス分離設備増設工事（サウジアラビア） ・ FLNG（モザンビーク）	・ 製油所近代化（イラク） ・ 原油・ガス分離設備（サウジアラビア） ・ ニアショアFLNGプラント（マレーシア） ・ NGLプラント増強工事（サウジアラビア）

受注の状況です。

第1四半期の受注高は全体で1,145億円でした。大型案件としてはモザンビーク向け洋上LNGプラント建設プロジェクトの1件にとどまります。このほか複数の大型LNG案件が契約に向けて進んでおり、今期中の受注を期待しています。受注残高は期初から若干減少し1兆1,412億円でした。

セグメント情報：機能材製造事業

売上高

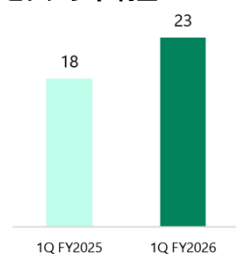


【億円】

通期予想	555
進捗率	28%

◆生成AI関連およびデータセンター関連の半導体需要拡大に伴い、半導体製造装置関連製品の販売が好調

セグメント利益



【億円】

通期予想	66
進捗率	36%

◆原材料調達等への中東情勢の影響はこれまでのところ限定的

機能材製造事業は増収増益です。
半導体製造装置関連を中心にファインケミカル分野の販売が好調で売上高155億円、セグメント利益23億円でした。
通期予想には中東情勢影響も多少織り込みましたが、販売面、材料調達面いずれにおいてもこれまでのところ影響は出ておりません。
そのため、通期予想に対する進捗は高めとなっています。

連結財政状態

【億円】			
	2026年3月末	2026年6月末	増減
総資産	8,387	8,500	+112
純資産	4,311	4,270	△ 41
自己資本比率	51.2%	50.0%	△ 1.2pt
JVキャッシュ 当社持分	1,098	1,106	+8

財政状態です。
期初からほとんど変わっていません。
自己資本比率は50%でした。

2027年3月期 予想



Enhancing planetary health

次に、2027年3月期通期業績予想についてご説明します。

2027年3月期の業績見通し

通期業績見通しに変更はありません。

【億円】

	FY2026 予想	1Q FY2026 実績	進捗率
受注高(※)	17,400	1,145	7%
売上高	6,700	1,592	24%
売上総利益	730	203	28%
利益率	10.9%	12.8%	
営業利益	400	123	31%
経常利益	460	213	46%
親会社株主に帰属する当期純利益	460	116	25%
1株当たり配当金	52.00円		
換算レート(米ドル)	150.00円		

(※) 総合エンジニアリング事業

【予想の前提】

- ◆ 中東情勢影響は、各プロジェクトの最近の状況に応じて予算を更新
- ◆ 円高想定により営業外為替差損が生じる
- ◆ 持分法適用関連会社売却による特別利益約200億円を第2四半期に計上

通期予想は5月の発表値を据え置いています。
プロジェクト毎に中東情勢影響を含め予算の見直しを行っていますが、全体としては期初発表値に対して順調に進んでいます。
ドル円為替レートは150円で試算しており、第1四半期に計上した営業外の為替差益は差損に反転する想定です。
持分法適用関連会社「水ing」の売却は7月に完了しており、第2四半期に予定通り約200億円の特別利益を計上いたします。
以上です。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
ファイナンス・IRオフィス IRユニット
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com